

熊コミュニティだより

敬老会特集

集会室 (第1会場)

熊地区敬老会開催さる

9月15日(日)熊市民館において平成13年度の敬老会が開催されました。全会員三三七名中参加者三〇七名(ご本人二二四名・代理八三名)と多数の来賓を迎えて盛大に式典を終えることが出来ました。式典終了後は地元の方々による余興が行われ一段と盛り上がり盛会のうちに敬老会を終了しました。

敬老会お祝いのことば

熊公民館長 原田 旻

今年も人生の先輩であられる皆様方のご長寿をお祝いして敬老会を開催させていただくこととなりました。

御承知のように現在日本は平均寿命が80歳を超える世界一の長寿国となっています。平均寿命がこれほど伸び、高齢化した国は人類始まって以来のことです。これは我が国が高齢化社会がもたらす様々な問題と向き合わなければならなくなった人類歴史上、最初の国になったという点でもあります。平均寿命が延びた理由の一つに現代の医学の進歩による延命治療とか手術などの医療技術によって昔なら死が免れなかった場合でも現在では生き長らえることが出来るようになったこともあります。しかし現代医学によっても高齢の方が一度、病で倒れた場合、寝たきりになってしまふとか、そうならないうまでも、介護されなければ生活できなくなる可能性が高いわけです。元気に生活でき、自分の生き甲斐を持ち、身の回りの事は自分で

ることが出来てこそ、長寿の意味があるわけですね。とは言え、私達はいずれ人様の援助と介護を受けながらあの世に旅立たなければならぬ定めです。誰もが望む事は、なるべく身内のものや周りの人達に、長く迷惑をかけないであの世に旅立ちたいと言うことであると思います。

現在是不況とか言われていますが、私達は先人が想像出来ないほどの豊かで便利な恵まれた時代に生きています。又多くの他の国々と比べると、日本は、古き伝統、優れた文化、豊かな美しい自然、春夏秋冬、四季折々、自然が織り成す美しい風景に充ちた素晴らしい国です。私達は皆、いずれはこの緑豊かな日本の山河の大地に骨を埋め、そしてこの大地の土となる幸せを持っています。50数年前のあの不幸なる戦いの後、遠い異国のシベリヤの凍てつく零下何十度と言う極寒の状況で、捕虜として収容された、何十万という同胞達の多くが、遠き故郷日本の土の香りを切ない思いで憧れつつ、寒さと飢えと病に倒れ死んでいった事を、そしていまだに彼らの遺骨が凍りつく遠い異国の土に眠っていることを忘れてはならないと思うのです。皆様方はあの不幸な戦争を身を持って経験され、そして生き延びられ、戦後の輝かしき復興の主役として生きてこられました。戦前、そして戦後、そして21世紀と生きてこられた皆様は実に貴重な素晴らしい経験を経験されたわけです。

こられた貴重な体験を通じて学ばれたことを後輩である私達に勇気と誇りを持って語り、そして教え導いていただきたいと思うのです。最後に皆様のご健康をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



公民館長

戦後、そして21世紀と生きてこられた皆様は実に貴重な素晴らしい経験を経験されたわけです。



和室の会場

でくつろがれる方々



市長代理より敬老祝い品を受領

「来賓の方々より頂いたお祝いの言葉」

お祝いのことば

本日、このように盛大な敬老会が開催され、皆様方の元氣なお姿を拝見し心からお喜び申し上げます。

皆様方は、永年にわたり社会の進展に寄与され、今日の郷土の繁栄と活力ある社会をお築きになりました。

ここにあらためて、敬意を表するとともに、ご長寿をお祝い申し上げる次第であります。

皆様御承知のように、我が国は、世界最高水準の長寿を誇り、その平均寿命は男性が77歳、女性が84歳となっております。このように平均寿命が延びることは、大変喜ばしいことでございますが、その反面、介護を必要とする人が増加し、介護が長期化しているのも事実であります。

今後は、介護の必要な高齢者に快適な生活を送っていただくことはもちろんではあります。健康な高齢者の自立した生活を支援する、介護予防の観点からの取り組みが行政の課題となるものと思われまします。人々が長寿を喜び、明るい活力に満ちた社会こそが、我々が目標とすべき長寿社会であると考えます。

そして、そのような社会を実現するためには行政の基盤整備は言うまでもありませんが、高齢者ご自身の健康づくりへの意識の向上、そして、地域社会の役割も大変重要であります。本市におきましては、これまで高齢者福祉センターひまわ

りを始めとした福祉施設

設の建設を

行い、高齢者の活動の場を提供して参りました。また、今年度開設いたしました南部福祉センターたんぽぽは、高齢者の方々が気軽に利用し健康増進のできる施設であり、併設の南部生涯学習センターとあわせて、生きがい活動の拠点としてご利用いただければ幸いです。

皆様方におかれましては、その豊富な人生経験や知識を若い世代に還元され、いつまでも社会を支えていただきますよう期待するとともに、生きがいづくりのため生涯学習活動にも積極的に参加してくださるようお願い申し上げます。

最後になりましたが、地区の皆様方には常日頃から高齢者福祉にご協力いただき有難うございます。本日もこのように盛大な敬老会を開催されましたこと、心より感謝申し上げます。ここにいらつしやいます皆様の、ますますのご健康を祈念いたしまして、本日のお祝いのことばといたします。

平成13年9月15日

刈谷市長

榎並邦夫



市長代理
福祉健康部長
古橋 秀夫様

市議会議員

清水幸夫様からもお祝いの言葉を頂きました



事務局長
杉浦国雄様



市議会議員 清水様

お祝いのことば

本日ここに、皆様の長寿をお祝いする敬老会が盛大に催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

ここにお集まりの皆様のお元氣なお顔を拝見いたしまして、なによりと心からお喜び申し上げます。いつまでも健康で、自分のことは自分で出来ることが一番の幸せであると思います。

刈谷市社会福祉協議会では、昭和58年度より長寿者番付を発行しております。本年敬老会にご招待されてみえます方のうち90歳以上492名の方が長寿者番付表に載っております。また、本年の番付表に載っております中では、102歳の方が最高齢者で、刈谷市には2名おみえになります。さて、本格的な高齢化社会の到来、少子化現象による家族構成や社会環境の変化に対応できるよう、刈谷市社会福祉協議会におきましては、社会福祉の充実、生活環境の整備、健康づくり等を推進してまいりたいと思っております。ここにおみえの皆様がいつまでもお元氣で、ご多幸であられることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成13年9月15日

会長

野村重彦

社会福祉法人刈谷市社会福祉協議会

いつまでも お元氣で

熊地区お住まいの高齢者の現況

伊藤志げ子さん（八幡町6丁目39番地）



知多郡南知多町豊浜
ご出身で、昭和13年に刈谷に

られたそうです。そのご主人も21年前に死別されました。以後刈谷市給食センターに勤務され働く事が好きとの事でした。今は息子さん夫婦と一緒に暮らしです。起床は7時すぎ、好物の饅頭を食べながらテレビを見るのが1日の日課だそうです。お嫁さんに「優しくして貰える事が嬉しい」と優しい目で見話して下さいました。

いつまでもお元氣にお暮らし下さい。

川澄文子さん（熊野町1丁目11番1）



JR逢妻駅前にあるお宅にお伺いしました。文子さんは名古屋出身で28歳で結婚されたそうです。結婚10年目に子供さんに恵まれたそうです。若い頃は洋裁がとても好きで県庁の食堂に勤務する傍ら、隣の女学校で勉強し何枚ものゆかたや服を作られたそうです。今は4人のお孫さんでも、好き嫌いも無くテレビを見ているのがとても楽しいそうです。明治大正、昭和、平成と生きてみえた文子さんは、91歳とは思えぬほど背筋もシャンとしてしっかりと口調で話して下さいました。



カメラが追った敬老会・余興



愛嬌たっぷりな
神谷智子さん



開幕合図のバチさばきも見事な太鼓

神谷義孝くん



決まったスタイルで
まさにプロの演技の渡辺さ



ねじり鉢巻ハッピー姿もきまって 詩吟熱唱

平成13年度熊地区敬老会祝い品贈呈式

修治会



あでやかに優雅に舞う美女のみなさん



可愛い娘3人(?)の美声にうっと

区敬老会祝い品



飛入り婦人会の
手つき腰つき悩ましき
フラダンス



ハムサムボーイ達の見事な演奏
にあわせて歌う3人美女

熊自治環境委員会だより

(1) 地下水汚染

4月28日の新聞に掲載された「刈谷地区トヨタグループ6社の地下水汚染」トリクロロエチレンの汚染源が話題になりました。その後委員会として地区周辺の注意箇所を県保健所市環境課に依頼し、個人の自己申告に基づいて検査を行ってもらいました。その結果いずれも基準値以下の値でありその旨各戸にお知らせしました。この件については、今後も発生源であろうと思われる、豊田自動織機に対して情報公開をもらうことを申し入れ文書にて回答をもらっています。内容についてお知りになりたい方は、熊市民館に来ていただければ縦覧できるようにになっています。

(2) し尿処理場建設

昨年来からの案件でありまして、現在の設備の老朽化による更新と、国際法上の外洋投棄の禁止と、県道の改修による場所の移設などの理由で現在地の東側に新設備を建設することが市議会で決定され、地域住民への理解と協力を求めている。これに基づいて市環境課で

は地区の代表者、地域住民の方々にも先進モデル地域の設備を見学して頂きました。また地区として熊自治環境委員会を結成し、市側との交渉の窓口として今後も住民の方々のご意見をまとめていきたいと思っています。

本事業は当地域だけの問題でなく、刈谷市としての処理施設であることに留意し、市として8月に「環境マネジメントシステムISO14001」を取得しました。

すでに9月15日の回覧で内容はご承知と思いますが、改めて要点をまとめました。

① 主な活動内容（3項目あるが本事業内容のみとす）し尿処理業務における良好な放流水の確保、悪臭防止体制の確立等環境負担の軽減

② 環境方針 刈谷市清掃センターは、し尿処理及びごみ収集運搬業務を行っている中、良好な環境を維持するため適切な管理に努めてきましたが、さらなる環境負担削減を図るためISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムに従い、次の取り組みを積極的に推進します。

刈谷市清掃センターの活動が環境に影響を及ぼすと考えられるものについては、技術的、財政的、事業的に可能な

範囲で環境目的、目標を設定しその実現に向けて活動するとともに、定期的に見直しを行って継続的な改善と環境汚染の予防を図ります。また環境に関する法令、協定その他の合意事項を遵守します。この環境方針は全職員に周知するとともに一般にも公表します。

平成13年5月1日

刈谷市長 榎並邦夫

以上が回覧の内容の抜粋です。環境委員会としても、10月13日に市環境課職員による今後の工事の進め方についての説明を聞き、皆さん方に情報をお伝えしてまいります。

熊自治環境委員会会長

森野邊栄次郎

パトロール隊情報

熊安全パトロール隊

安全パトロール隊は犯罪・事故の防止を目的に、地区内の暗い道路・公園を

明るくする活動

を市役所の

協力を得て行

っています。

その活動状況

について現況

をお知らせい

たします。

① 暗い道路に



熊野公園の夜景



移設した公園灯

ついでには、防犯灯を11ヶ所新設し、通行者の安全に配慮しました。

② 暗い公園については

▲熊野公園に公園灯1ヶ所新設及び既設の公園灯を移設して、公園内の遊園地を明るくし利用者の安全に配慮しました。

▲宝公園

には公園

灯を1

ヶ所増設

して、公

園内をよ

り明るく

し利用者

の安全に

配慮しま

した。

現在のところ、新設申請箇所の

2箇所が未設置になっていますので、

早期設置の推進をしております。

安全パトロール隊は地区内を「より安

全な環境」

にしたく活

動をしてい

ますので、

皆さんから

の意見・要

望等お寄せ

いただきました



新設の公園灯

く、お待ちしております。

熊子ども会 すもう大会で 団体準優勝

8 月 25 日(土)アイシン精機体育館で刈谷市子ども会のすもう大会が行われました。

当日は、残暑きびしい中、熊子ども会からは団体 3 チームと個人戦に 28 人の子ども達が挑戦しました。



入賞した子もなかった子も夏休み最後に素敵な思い出を作ることが出来ました。結果は次の通りです
団体準優勝 熊 B チーム (河鯉公晃・深



卓哉 男子 5 年 3 位 上垣健太 男子 6 年 3 位 細川満 女子 4 年 3 位 三浦めぐみ

たのしかったすもう大会

八幡町 4 年 石川範頼

「はっけよいのこった」すもう大会が始まった。個人戦、僕は 1 回戦で負けちゃった。次に、団体戦ドキドキしながら土俵に上がる。始まった。一生けんめい前に進む。そして、投げ飛ばした。「やったー」うれしくて大輝君とだきあった。とうとう準決勝。熊野対熊野で戦った。3 対 2 で、僕たちは負け、決勝戦は、応えんしたけど負けちゃった。二位と三位だけど表彰台に上がれ、うれしかった。来年はぜったい一位!

たのしかったすもう大会

熊野町 4 年 三浦めぐみ

私はすもう大会に出ました。さいしよは勝つ自信がありました。もちろん優勝も

ねらっていました。

開会式の時、だんだんドキドキしてきました。開会式が終わったあと 1・2・3 年生のしあいのはじまりました。

次は 4・5・6 年生のぼんでした。私はすぐきんちようしました。男子がさきにやりました。その次に女子がやりました。4 番目に私はやりました。1 回目は勝ちました。2 回目も勝ちました。3 回目に相手が足をもつてきて、負けてしまいました。とつてもとつてもくやしかったです。でも私は一生けんめいできたとおもいました。3 回目で負けちゃったけどとつてもとつても楽しかったです。私は 3 位になってどうメダルをもらい、しようじようももらいました。

楽しかったすもう大会

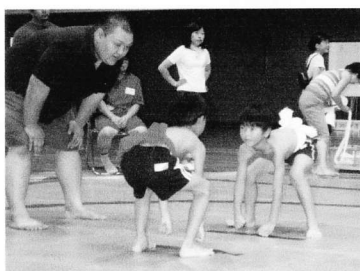
宝町 5 年 上垣健太

ぼくは今年初めてすもう大会に参加しました。個人戦でぼくの友達でした。友達だけど手をぬかずに全力でしようぶをしました。1 戦目は、思いつき押ししました。そうしたらおし出しで勝ちました。これでベスト 8に残ったと思つたらベスト 8は 8 人までで 9 人いたのでジャンケンで負けた 2 人ですもうをとつて負けた人がベスト 8に残れませんでした。ジャンケンでぼくは、勝ちました。2 試合目は、くじでまた友達と戦うことになりました。同じ子ども会で、いっしよに練習をしてきた子と戦う事になりました。練習では、1 回も勝てなかつたので、今度は

は負けてしまふと思ったが勝ててうれしかったです。3 回戦目は負けてしまい、3 位になりました。団体戦は、ぼくは勝つたけど勝ち進む事はできなくて残念でした。来年は絶対 1 位になりたいです。すもう大会に参加して

八幡町 6 年 細川満

ぼくは、最初の個人戦で、ベスト 8 を目標にしてやっていたが、練習の成果がでたのか、なんと、第 3 位に出来ました。団体戦は、ぼくは大将で出ました。そのときの副将の子や中けんの人が、がんばって勝ってくれたので、どんどん勝ち進みました。とうとう決戦まできて、あいては、うの島子供会と言うところでした。



決勝戦は先ぼう、二陣、中けん、とぼくの前の三人が負けてしまつて、優勝はなくなつてしまいました。ぼくも負けてしまいました。結果は、個人が 3 位で、団体戦が 2 位でした。団体戦が 2 位だったの

であとすこしで金メダルがもらえたのにと思ひ少し残念でした。でもみんなが、がんばって、銀、銅メダルをもらえたのは、うれしかったです。

熊野神社祭礼近づく

当熊野神社では大祭と名のつく祭りが3回あります。春の3月に祈年祭といつて、年穀の豊穰を祈る予祝行事。12月には新嘗祭といつて、その年に収穫した新穀をお供えて、神恩に感謝をする祭り。そして10月の例祭（一般では御祭礼またはお祭り）といつて、通常年に一度の大祭を行うのが恒例で、この恒例の大祭を例祭と呼ぶ、その神社にとって最も重要な祭祀であり、旧儀を尊重して行われる祭りです。

例祭は当神社では10月14日に行われていましたが、現在では10月の第2日曜日に執り行われます。



市原神社にて 合同練習風景

による神輿の準備等。例祭前日には熊

神社では8月から例祭の準備が始まっています。神子によるお神楽の練習、厄年による余興の手配、子供会



老人会の方々の清掃、地区の方々にやる幟立てや清掃が行われ、準備万端皆様をお待

ちしています、どうぞお気軽にご参拝ください。

「なでしこ会」からお知らせ

今年の秋は、世界情勢は別に考えることにして、とても気分のよい、さわやかな日が続きますね、皆様は、いかがですか。「なでしこ会」は9月22日に行われた第2回ボランティア国際年記念研修講演会に出席しました。

医療と福祉、そしてボランティア

―医療福祉の視点から見る21世紀の地域と暮らし―と題し、病院ボランティア「ゆうあいの会」のこと、医療・福祉の現状についての問題、病を超えて生きる人々、ボランティア活動の移り変わり、地域を作るボランティア等について講演されました。当日はケーブルテレビ（キヤッチ）の方々が収録をしていました。

「なでしこ会」の今後の予定行事
10月20日亀城小学校のウォークラリー

に協力 熊野公園にて

10月21日「福祉・健康フェスティバル」

協力参加

11月17・18日 熊文化展 協力参加

内容、詳細については、10月1日の定例会で決定しますので何卒宜しくお願いします。

市民盆おどり大会

熊子ども会太鼓初参加



編集後記

平成13年度の熊地区敬老会が9月15日に、無事と行われました。毎年恒例となっている行事ですが、今年も、公民館をはじめ、沢山の様々な立場の人たちによって、手作りの会が企画・実施されました。参加者の皆さんに少しでも楽しく過ごしていただけるよう関係者一同努めました。改善すべき点やお気づきの点がございましたらぜひお知らせ下さい。

さて、暑く長かった夏も終わり、ようやく秋が巡ってきました。熊地区でも熊野神社の大祭や、婦人会の研修旅行、秋の文化展など楽しい行事が盛り沢山です。今熊市民館では、11月17日・18日に行われる、秋の文化展にむけて、皆さんの作品を募集しています。絵画、書道、写真、工芸品などジャンルは問いません。身近な発表の場と考えて、日頃のお稽古精進の成果をぜひ御出品下さい。

今回のコミュニティだよりは、諸団体の充実した活動のお陰で2ページ増の全6ページでお届けすることになりました。敬老会をはじめそれぞれの団体の活動の様子やその時の雰囲気や少しでも皆様にお伝えできれば幸いです。今後コミュニティだよりで取り上げてほしい記事や内容がありましたらどうかお知らせ下さい。

これからの主な行事

- ☆10月6日 婦人会 手芸教室
- ☆10月7日 公民館会計監査
- ☆10月8日 体育の日
- ☆10月10・30日 交通安全 0の日
- ☆10月14日 熊野神社 祭礼
- ☆10月17日 子ども会神輿奉納
- ☆10月17日 婦人会 研修旅行
- ☆10月20日 親子ふれあいウォーク
- ☆10月28日 秋の530運動
- ☆11月17・18日 熊文化展
- ☆11月20・30日 交通安全 0の日

次号の発行日は12月15日です